

要望書に関する活動



要望書とは学生の大学に対する要望を学生自治会が調査して、それをまとめたものです。この要望書を使って大学に、学生の要望が実現するように訴えかけます。

(1) 要望書説明会を行います。

学生自治会は学生の要望を実現するためには、大学執行部に学生の切実な要望を伝え、適切に説明する必要があると考えます。そこで、大学執行部に対し要望書説明会を行い、学生の実情を直接説明し要望の実現を訴えます。

加えて、要望アンケートで寄せられた要望・意見のうち、要望書に掲載していないものについても意見集としてまとめ、この要望書説明会の際に大学執行部へ提出します。

(2) 要望書公開回答の実施を大学に要請します。

公開回答とは、要望書の内容に対して大学が公開形式で回答することです。公開回答では大学の回答に対してその場で質問・意見できるため、学生と大学が互いの実情を知り、相互理解を築く上で大変有益な場となります。

そこで、今年度も要望書に対する大学の回答を公開形式で行えるよう、大学に要請します。

(3) 生活協同組合に対する要望・意見を生活協同組合へ提出します。

学生自治会は、要望アンケートや、昨年12月から今年11月末までの間に意見箱に寄せられた要望・意見のうち、生活協同組合に関する事項は、今後の生活協同組合の運営の参考にしてもらえよう、まとめて提出します。

情報宣伝・収集に関する活動

学生自治会は学生生活をより良いものとするために活動しています。そのためには学生自治会が学生の意見や大学の現状を知り、学生のみなさんが意見を出しやすいように大学についての情報を学生のみなさんに伝える必要があります。そのために学生自治会は以下のような情報収集・宣伝を行っています。



(1) 学生生活に関わる情報の宣伝を行います。

学生自治会は、これからも自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイトなどの情報宣伝手段を活用し、意見箱やメール、アンケートなどの情報収集手段によって得られた学生生活に関わる内容についての情報宣伝を行います。また、今までの情報宣伝手段の改善を検討し、これからも引き続き情報宣伝を行なっていきます。

(2) 学生の意見や、大学に関する情報の収集を行います。

学生自治会は、引き続き意見箱や掲示板、アンケートなどを用いて学生の意見を収集します。また、寄せられた意見やそれに対する学生自治会および大学の回答を、自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイトへ掲載し、意見箱周辺に設置している掲示板に掲示します。

また、学生の置かれている状況に合った自治会活動を行うためには、学生の意見だけでなく、大学の動きや社会情勢を把握する必要があります。そこで、学生センターとの話し合いや府大教との話し合い、インターネットなどを通じて、引き続き情報収集を行なっていきます。